

2021 年 7 月 1 日

2021 年度第 2 回応用物学会北海道支部役員会 議事録

日時：2021 年 6 月 25 日 (金) 17:00～

形態：ZOOM によるオンライン審議

参加者（順不同、敬称略）：

戸田泰則(支部長), 植村哲也(会計監査), 木場隆之(北見幹事), グェンタンソン(釧路幹事), 中村基訓(旭川幹事), 本藤克啓(室蘭幹事), 小田久哉(千歳幹事), 村上尚史(庶務幹事), 田口敦清(会計幹事), 篁耕司(人材育成幹事), 足立智(支部評議員), 本久順一(支部評議員)

以上 12 名

欠席者（順不同、敬称略）：

柳谷俊一(函館幹事), 山根啓作(庶務幹事), 小野円佳(会計幹事)

以上 3 名

事務局：惣伊田ゆり

議事録作成者：村上尚史 (庶務幹事)

● 議題 1 将来構想基金への申請について

- 戸田支部長より経緯の説明があった。
 - ◇ 来年度より支部共通規程が一部改正される（支部交付金算出方法の基準化および繰越金上限額の廃止）。
 - ◇ リフレッシュ理科教室について、来年度以降の予算状況が不透明である
 - ◇ 来年度の事業計画について検討が必要
 - リフレッシュ理科教室の予算を例年通り確保するため、他の事業を調整・縮小しなければならないかもしれない
 - 「学術教育奨励基金（8 月末締め切り）」および「将来基金（4 月末および 8 月末締め切り）」の募集があるので、何らかの申請することが必要
- 以上の経緯を踏まえて、基金への申請について議論がなされた。
 - ◇ 過去の申請例：北大総合博物館で実施したリフレッシュ理科教室（2019 年度）は、将来基金の支援を頂いた。
 - ◇ 現状：ジュニアセッション事業は、学術教育奨励基金から支援を頂いている（5 年間事業の 3 年目）。
 - ◇ もう 1 件、何らかの申請したい。
 - 案 1：高校生支援あるいは新会員を増やすような旅費支援など
 - 案 2：他支部との交流（奨励賞の学生に対し、他支部のイベントでの講演に参加してもらうための旅費の支援）
- 上記の議論を踏まえて引き続き検討を進め、次回役員会にて諮ることとなった。検

討事項は以下の通り。

- ◇ 「学術教育奨励基金」および「将来基金」のどちらに出すか。
- ◇ 申請事業の具体的な内容。
- ◇ 不採択も想定した次年度の事業計画・予算案の策定（8月末提出締め切り）。

● 議題2 次年度学生旅費支援事業の運用について

- 村上庶務幹事より、これまでの経緯の説明があった。
 - ◇ 田口会計幹事が中心となり、学生旅費支援事業のより効率的な運営のためのルール改正の検討がなされ、メール審議がなされてきた。主な改正点は以下の通り。
 - 1人上限一回のルールを外す。
 - 支援は宿泊費に限るというルールを外し、交通費、航空券についても支援対象とする。
 - ◇ その後、支部共通規程の改正（上記）の通知があったため、本ルール改正の適用はいったん見送ることとなった。
 - ◇ 次年度の事業の運用については、議題1の案件と関連して引き続き検討することとなった。

● 議題3 その他

- 特になし

● 報告

- 村上庶務幹事より、北大開催リフレッシュ理科教室の準備状況について報告があった。
 - ◇ 現時点では対面を予定しているが、当日に会場が対面使用許可されるかは不透明な状況。場合によってはオンラインの可能性もあり。
 - ◇ 国立大学フェスタへ2021の申請。
 - ◇ 電子情報通信学会北海道支部様、電気学会北海道支部様へ後援依頼。
 - ◇ 会場（北海道大学工学部）仮予約。
- 村上庶務幹事より、ホームページリニューアル事業の状況について報告があった。
 - ◇ ホームページの内容・構成案をもって業者へ問い合わせを行う予定。
 - ◇ 要検討事項：オンデマンド教材のコンテンツ、各種申込フォーム（支部講演会、学術講演会、旅費支援事業など）、保守・サポートのため経常的ににかかる経費の確保、など。
- 田口会計幹事より、学生旅費支援事業の応募状況についての報告がなされた。
 - ◇ 現時点で5名から応募があった。
 - ◇ 締切りまで1週間あるので、希望者は奮って応募してほしい。

以上